



## やはぎっ子だより ～第2学期を終えて～

令和7年12月24日  
小田原市立矢作幼稚園  
園長 石川 浩一

1学期同様、2学期も皆さんのご支援・ご協力により大きな事故やけが等がなく無事に過ごすことができ感謝いたします。夏休みを終え、幼稚園に戻ってきた子どもたち一人ひとりがぐっと身長が伸びてびっくりしました。最近は、年少組のみんなの表情にも何か自信がみなぎってきた印象になり、とても頼もしいです。

2学期の初めあたりから、園の所属感を味わわせるとともに、仲間意識が育つように、「おはよう掲示板」をつくりました。

朝、いつものように園長と挨拶をした後、園長の後ろに置かれた掲示板に貼られてある自分の写真カードを下の位置から上の位置に移動します。あいさつが終わった子から同様にしていくと、今日の友達の出席状況が見えてきます。「〇〇さんは、まだ来ていないね。」「昨日も休んだけど大丈夫かな。」「今日は休みが多い。」等の声が聞かれます。誕生日のコーナーもあるので、その日は特別にそこに貼ります。さくら組の子の誕生日にりす組の子が気づいて「おめでとう」を伝えに行く姿が見られるようになりました。うれしいですね。

2学期は、「学びが多い」幼稚園になっていたでしょうか。1学期にお示しした  
**「やはぎっ子育成プラン」2学期の枠をもとに、ふりかえっていくことにします**



「学びが多い」ということは、ただ遊んで楽しいではなく、遊んだことでいろいろなことが獲得でき身につくことです。子どもたちが、そのような姿に変容していくけば、学びが多い姿を表すことになります。

①は、②や③を実現するための方法です。具体的には、下記のようなかかわりの活動が数多く展開されました。「人・もの・こと」とのかかわりが見られ、学びが多くなったことがわかります。

②は、「子どもの成長の姿」・・かかわりがつくられる場や機会によって、最初は自分の世界で中で満足していたことが、みんなで一緒に成し遂げたり、つくれたりすることで、一人の世界では味わえなかった充実した喜びや楽しさ、達成感や満足感を味わえるということに気づき始めました。

そうすると、だんだん最初から何人かで集まってよりよいものにしたいという動きが、色々な行事の実現に向けてのスタート時に出てきました。個人から集団へと視界が広がってきて、「成長」が感じられました。



**「誕生日コーナー」**  
本日誕生日の友達です

2学期 9月10月11月12月まで		
		共に生きる喜びを味わうとき
①	かかわり合う場や機会	やはぎっ子の一日で、その姿を発信中（ホームページ掲載）
②	子どもの成長の姿	<b>親しむ</b> • 知ったことを使って、みんなと一緒に仲良く過ごそうとする。
③	子どもの学びの姿	<b>できる</b> • わかるようになった内容や方法等で、色々なことが正しく表現できる。

③は、「子どもの学びの姿」・・わかるようになった内容や方法等で、色々なことが正しく表現できる姿ですが、「正しく」については、完成とまではいかなくても自分や友達との思いを受け入れた表現ができていればよいとすれば、運動会の種目や係、生活発表会の役や役割をがんばっている姿から「**合格**」なのではないでしょうか。

#### ①を表す「共に生きる喜びを味わう場や機会」

##### 友達とかかわる

###### ■運動会（やはぎっ子げんきっ会パート2）

子どもたちは毎日毎日活動をがんばっていました。みんなで一緒に同じものを作り上げていく苦労や喜びの積み重ねができたでしょう。

ダンスの振り付けを覚え、友達同士でかかわり合って力をあわせ、息ぴったりな作品ができることで達成感を共有できました。



##### 家族とかかわる



親子で一緒になって競争するだるま運びは、友達だけでなく、自分のすぐそばにいる大切な人と協力し合うことで、一層絆が深まりました。今年度は、飛び込みで全員リレーを楽しみました。評判が良かったので、みんなが参加型の種目を増やした運動会が実現できると嬉しいです。



##### 友達や家族とかかわる



###### ■生活発表会（やはぎっ子げんきっ会パート3）



運動会と同様に、一生懸命自分が決めた役割を演じていました。一つのストーリーの中での自分の役割を演じ切るほかに、チームの出来栄えにもお互いに意識し合い、一体となる振り付け目指して繰り返し練習していました。劇の演出に必要な小道具づくりもしていました。この前向きな試行錯誤が次の活動の意欲や改善・向上へと導きます。保護者の皆さんも一つになって応援していました。さくら組は全てが初めてなのでドキドキしますね。



##### 先輩とかかわる

###### ■中学生との交流

鴨宮中学校の3年生が夏休みの宿題でつくったおもちゃを持参して遊びに来てくれました。とても温かい雰囲気の中で一緒に楽しそうに遊んでいました。リレーも一緒に競争しました。先輩が後輩のお世話をすることは、**お互いの心の成長**に役立ちます。これからもぜひ続けてほしい活動の一つです。



##### 小学生との交流

矢作小学校の1年生から招待がありました。オリジナルの作品で開くお店屋さんが教室の中のあちこちにあり、園児はお客様になってそれらを回りながら楽しんでいました。オリジナル作品が商品になっていますが、さすがに先輩だけあって素晴らしいものばかりでした。

## 先輩・後輩とかかわる

### ■あいさつ運動

年の離れた中学生ではなく、1歳上の先輩とあいさつを交わすのも時には新鮮です。先輩は後輩のお手本となるよう張り切ってあいさつします。こういう場を意図的につくることで、子どもたちは日常的に自然に仲間意識が育ち、みんな一緒に楽しい園にしたいという気持ちが育ちます。実感を伴った理解（人の大切さ）の活動ともいえますね。



### ■子ども同士見る会（生活発表会）

先輩のりす組さんが後輩のさくら組さんを招待して、本番前の発表を披露します。その宣伝に登場したりす組さんを見て、さくら組さんは、期待を膨らませたり、憧れを抱いたりしています。小さな交流ですが、お互いの活動を知り合うことで、一体感が一層生まれます。



## ボランティアさんとかかわる



ボランティアさんの活動が増えてきもありがたいです。地域の人材だけではなく、今年度は保護者の方のボランティアも増えてきて、とても嬉しくなりました。園に関わる様々な人とのかかわりは、園という限られた環境の中では経験しにくい貴重な体験や学びができるのが素晴らしいです。

このような活動の積み重ねが、園児には、自然とみんなのおかげで自分たちは大きくなっているということを知り、感謝の気持ちが育つことにつながります。

### ■なかざと文庫



### ■ちるすま



### ■絵本屋さん



### ■もちつき会



### ■お楽しみ会（ミニコンサート）



## さまざまな人とかかわる



### ■英語で遊ぼう



### ■消防クラブお絵かき会



### ■稲刈り見学



## さまざまなものやこととかかわる



### ■作物の収穫や花の苗植え・冬芝の種まき

さつまいも



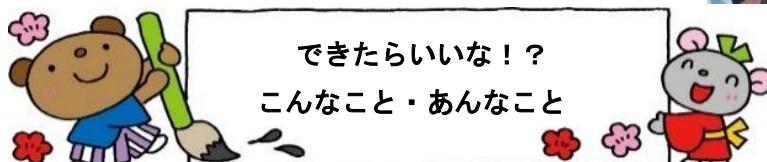
玉ねぎの苗



ヒヤシンス チューリップ



冬芝種まき



### PTA活動のスリム化

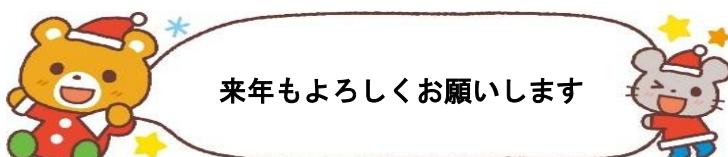
園児の数の減少に伴い、今まで通りの活動がむずかしくなってきています。なかでも、指名委員さんの選出は大変ですし、指名委員さんになられても誰に声をかけたらいいか悩むところです。

学区はなく、様々な地域から入園いただいているというのも人選の難しさにつながっていると思われます。他の園では、役員さんが指名委員さんを兼ねていると聞きました。なるほどと思いました。今後は、従来通りでは、時代に合っていない事例について、見つめ直していく必要がありそうですね。

### チャレンジ・ザ・スポーツ

矢作幼稚園・矢作小学校のまわりは、とても走りやすいコースですね。10メートルごとにマークをつけ、いつでも練習できる環境をつくり、1周走る「ちびっ子マラソン」や「ちびっ子駅伝」してみたいです。また、園庭を利用してサーキットトレーニングができるコースをつくり、いつでも時間があるときにチャレンジするのも楽しいです。踏み台昇降、反復横跳び、等を取り入れると、小学校のスポーツテストの準備にもつながります。様々な条件をクリアしないとこのチャレンジは実現できませんが、自分の夢として温めています。

身边に、体を動かす楽しみが体験できるようにするのは、生涯スポーツの視点からも大切だと思っています。



### 保護者の皆様へ感謝

○2学期は、草取りウイーク、落ち葉はき運動など今までの清掃活動の仕方を日常的に気軽にできる活動に工夫していただきありがとうございました。この「いつでもどこでもだれとでも」の活動をきっかけに、日頃から身の回りの整理整頓を意識した過ごし方ができるようになることが期待できます。

○もちつきの準備には、保護者の方の協力なくしては成功しませんでした。もち米を炊くのは、薪を釜戸に入れ、常に火力が一定になるように注意をしていなくてはなりません。とてもおいしく炊けました。

○もちつき当日は、「ようちえんDE あそぼう」の日のメインイベントとしても位置付けましたので、多くの未就児の皆さんももちつきも体験できました。おもちの手触りを楽しみながら、お土産もつくれました。

